

ヘルスケア歯科学会がより身近になるように

丸山和久（コアメンバー）

さて唐突ですが、皆さんは学生時代に何かクラブ活動をしていましたか。私も弱小クラブの下手くそメンバーでしたが、サッカー部に入っていました。試合や大会の結果に一喜一憂するのはもちろんですが、日々の練習や仲間との語らいが楽しく、学生の本分は勉学ということになっていますが、何を目的に学校に行っていたかわかりません。もちろん学校以外での活動が充実している場合もあるでしょうが、クラブに所属する方が友だちはできやすいし、学生生活がより楽しくなりそうです。

本会でもよく仲間づくりが大事といわれます。その理由をいくつか挙げてみます。目指すことこそが1人ではできないチーム医療、学校では教えてくれないこと、本で読んですぐ実践というわけにはいかないこと、1人だと行き詰まることが往々にしてあること、懇親会などで語られる成功体験や失敗の事例は大いに参考になること、先輩から教えてもらうことや後輩からの刺激が時にかなり有効なこと、スタッフごと医院の垣根を越えて成長できる可能性があること、などです。私もかつてニュースレターを眺めるだけの時期のあと、関西ヘルスケア歯科談話会（すでに発展的解消しています）や兵庫ヘルス（三宮での夜の食事会からスタートしました）には大変お世話になりました。今もコアメンバーをさせてもらっていますが、これもまた仲間との活動です。ただ本会は全国をカバーする地方会が組織化されていません。つまり入会すると地方会にも自動的に組み入れられ、顔の見える関係になるというわけではありません。本会の課題の一つです。（公認団体はその活動は様々で、決して本会の下部組織というわけではありません。）これまでも様々なイベントやセミナー後の懇親会やメーリングリストなどを利用して、上手に仲間作りできた人も見てきていますが、それができていないままの人もいるのではないかと危惧しています。「懇親会は宝の山」と言っておられた方がいましたが、まさに名言です。新型コロナ感染症拡大以降は本会含めてWebで行われるセミナーが活発ですが、その後の懇親会がないのは残念なところ。今後の世の中の落ち着きに期待したいところです。

さて既出のことですが、2点ご案内しておきます。まず一つは毎月第2火曜夜のオンラインサロンです。これまではコアメンバー主導でしたが、今後は企画・運営をより若いオピニオンメンバーが行っていきます。企画によってごく稀に有料のときもありますが、基本的に無料で会員ならばどなたでも、事前の申し込みなしに参加できます。ここ数ヶ月は各プロジェクト、フォーラムからの発表（後述）が行われていましたが、今後は各公認団体の紹介やインタビュー企画などもあるようです。内容は学会ホームページでご確認ください。ちなみに7月は兵庫ヘルスが担当して、身近な地域の仲間のあり方の一例を示すとともに8月21日開催のワンデーセミナーの紹介をします。とにかく第2火曜日はヘルスケアに触れてください。何かが見つかるかもしれません。

もう一つは今期オピニオンメンバーの任期から始まったプロジェクトやフォーラムの活動です。コロナ以降はZoomなどWebミーティングが身近になりましたが、現在オピニオンメンバーは以下のチームのどこかに所属して、定期的に全国の仲間とミーティングを重ねています。これがさしずめクラブ活動です。懇親を深めつつ、テーマを持って話し合い、何かしらかたちになれば本会や会員に向けて発信してもらいます。これまでに禁煙支援がウェビナーを開催し、オンラインサロンでは学校歯科医としての取り組みの紹介や自院のデータから欠損についての考察が、またニュースレターでもそのほか順次発表されています。自院だけではできないことへの取り組みの成果は、今後も楽しみです。ただ憂慮すべきはこれらの活動がまだまだオピニオンメンバーにとどまっていることです。各チームからの発表に触れて、またネーミングからピンときての参加希望があれば事務局までお申し出ください。各チームの事情もあるでしょうが、できるだけそのご希望に応えたいと思います。多くの人が学会の活動に触れる、仲間づくりが容易なこと、裾野から広がるヘルスケアも大事にしていきたいと考えています。

・プロジェクト

～具体的な課題があり、何らかの結果や成果が求められる

認定分科会申請プロジェクト

頒布品新規開発プロジェクト

衛生士雇用について

禁煙支援プロジェクト

修復物サバイバルレートプロジェクト

CRASP 普及プロジェクト

デンタル X とウイステリア併用チーム

・フォーラム

～共通のテーマで集い何かしら学会や会員に示唆、提言、報告を行う

海外でヘルスケアをやってみよう

ヘルスケアと欠損

ヘルスケアと障害者歯科

ヘルスケアと学校教育，学校歯科医

フォーラム・(診療所内) グッズ&ひと工夫

フォーラム・文献に触れよう

ヘルスケアと赤ちゃん歯科

ヘルスケアと人生 100 年時代

ヘルスケアと訪問歯科

ヘルスケアと矯正歯科